

新日本保険新聞

(損保版)

第1～4月曜日発行
発行所 新日本保険新聞社
大阪市西区鞆本町1丁目5-15
(郵便番号550-0004)
電話 (06) 6225-0550 (代表)
FAX (06) 6225-0551 (専用)
購読料 1か月2200円
(消費税、送料込み)

©新日本保険新聞社 2021

シンニチ保険Web
www.shinnihon-ins.co.jp
購読者専用バックナンバー
閲覧パスワード
Beyond
2022年2月7日 AMまで
※偶数月の第一日曜日正午ごとに変更

東京代協



水谷氏



安藤氏(左)と井上氏

「夜回り先生」招き 命のセミナー 中央支部と城南支部が合同で開催

東京代協の中央支部(井上泰弘支部長)と城南支部(安藤康二支部長)が、講師を「夜回り先生」の自殺者増加の現状と「夜回り先生」命を守る行動とは」をテーマにセミナーを開催し、子どもたちを救うために大

館(東京都千代田区)と「感じる」と危惧する。ウェブ配信のハイブリッド開催となった。水谷氏は31年前から23時以降の街の夜回りをし、現在も毎週末、出張先であってもその街の夜回りを続けているという。夜回りする理由を「子どもたちの人間関係を作るために始めた。夜の世界にいる子どもたちを「子どもたちとの人間関係を作るために始めた。夜の世界へ戻りたい」と話す。水谷氏に出会い、立ち直った子どもたちが今では夜回りをし、SOSを発する子どもたちの助けになっているという。

谷氏が実践する治療を紹介。身体を動かすことは副作用のない治療法で、心の病を抱える子ども、4時間歩きながら話をすると顔つきが変わるといふ。「心と身体がアンバランスだと心を病んでしまふ。健全な心は健全な身体に宿る」ため身体を動かすこと、例えば全身運動の縄跳びは簡単にできる治療法だと語った。最後に「好き好んで夜の世界に入る子どもはいない。大人にできるのは、心の優しさを放出すること。どのような人にも優しくしてほしい」と呼びかけた。

近年は「昼の世界に夜科薬の危険性を訴え、水